

製品名: α 骨格筋アクチン (2B10) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03589**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 42 kDa; Observed MW: 42 kDa

抗原情報

遺伝子名	ACTA1
別名	ACTA1; ACTA; Actin; alpha skeletal muscle; Alpha-actin-1
遺伝子 ID	58
SwissProt ID	P68133
免疫原	ヒトアクチンの合成ペプチド

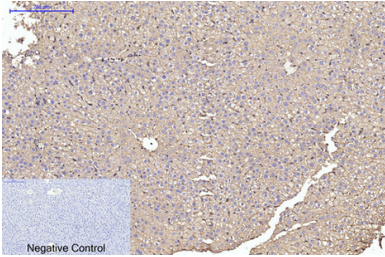
背景

アクチンは、さまざまな種類の細胞運動に関与する高度に保存されたタンパク質であり、すべての真核細胞で普遍的に発現しています。

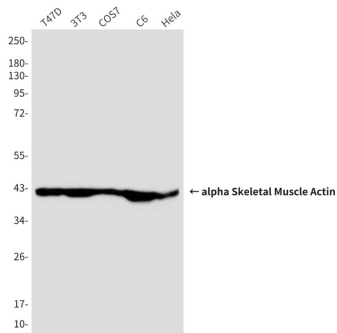
研究分野

シグナル伝達

画像データ



アルファ骨格筋アクチン (2B10) 抗体を使用したパラフィン包埋ラット肝臓組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



α骨格筋アクチン (2B10) 抗体を用いた T47D、3T3、COS7、C6 および HeLa ライセート中の α骨格筋アクチン (2B10) のウェスタンブロット分析